

第169回 熊本大学公開講座 「インストラクショナルデザイン入門編・応用編
～IDを知ることからはじめよう～」実施報告

- 2011年より、IDの公開講座(講師、概要)を、東京、大阪、名古屋にて実施
- 講座実施の経緯および目的
 - ・ 熊大政創研生涯学習教育部門、IDの啓発、受験者への情報提供
- 受講者の内訳、感想(良かった点、希望・改善点)、事後アンケート
 - ・ 医療系、IT系が多い
 - ・ 講座への満足度は悪くない
- 課題
 - ・ 参加者をどう増やすか
 - IDを学ぶメリットをどう伝えるか(何に使えるのか)
 - 医療系、IT系以外への働きかけ(学会以外の展開)
- 今後の展開
 - ・ 名古屋(10月20日)と東京(11月10日、1月26日)で実施
 - ・ OB・OGとのさらなる連携

「教育デザイン・ワークショップ - インストラクショナルデザイン(ID)入門編 -」

2011年11月26日(土) 9:30～16:30 田町・キャンパス・イノベーションセンター5階

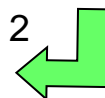
講師： 鈴木克明、根本淳子、都竹茂樹(熊本大学)
森田晃子、片野俊行(TDMコンサルティング株式会社)

対象者：

- 効果的な教育手法を学びたいと思っている方
- 教育を企画・デザイン・運営している方
- 自身の教育法について悩んでいる方
- 学校教育関係者、企業内の教育部門の方、医療人育成担当の方など教育・人材育成に携わっている全ての方

周知方法：

講師・関係者のFB、Twitter、IDマガジンのHP、メルマガ、メールによる個別案内



入門編プログラム

第1部:IDを知る！(理論編、森田・鈴木) 9:30～12:30

- § 1 オープニングセッション
- § 2 インストラクショナル・デザインとは
- § 3 学習意欲を高めるための動機づけ (ARCSモデル)
- § 4 学びを支援するための働きかけ (ガニエの9教授事象)

《昼食休憩》 12:30～13:30

第2部:IDを活用する！(ワークショップ編、片野・根本) 13:30～16:30

- § 5 事例紹介(都竹)、グループワーク
- § 6 事例紹介(森田)、グループワーク
- § 7 まとめ

2011～13年の開催地・受講者数

2011年	東京	入門	41名
2012年	東京	入門・応用	34名
	大阪	入門・応用	30名
2013年	大阪	入門	23名(済み)
	名古屋	入門	37名(10月開催)
	東京	入門・応用	11月、1月開催



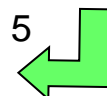
2011年（東京）受講者内訳

勤務先:

関東(東京、神奈川、千葉、埼玉)	36名
山梨、静岡、名古屋、大阪、兵庫	各1名

職種:

医療系(看護師、保健師、管理栄養士など)	12名
IT系	11名
医療系(教育)	5名
人事系、インストラクター	各2名
大学教員、小学校教諭、会計、映像制作、出版社	各1名
無回答	4名



事後アンケート

理解度：

大変よく理解できた	27%
理解できた	71%
どちらとも言えない	0%
難しかった	2%

満足度：

大変満足した	49%
満足した	51%
どちらともいえない	0%
不満足	0%
大変不満足	0%

良かった点

- 熊本大学でしかできない講座なので、とても魅力的でした。
- 大学院生でなくとも先生方の講義や学問に、東京でふれられる点。
- 様々な職種・領域の方と交流できる。
- テーマ、指導体制、場所も便利。熊本だったら参加しませんでした。
- 様々な講師の方からお話を伺うことができ、またその内容を踏まえてのグループワーク等など非常に勉強になりました。
- IDの考え方が身近に感じられた点。
- 各企業の研修の窓口となる人事部の方が受講すると良い。
- 仕事に活かせること。
- 貴学の修了生が講座をされている点が魅力的。

今後の希望および改善点

- 今日学んだことをより定着させるために、何度かワークショップを実施して欲しい。
- 事例をあと2つくらいやってほしかった。
- 引き続き、IDの入門から中級ー上級へとステップアップできる会があればいいと思います。
- eラーニングでのIDの活用の具体的事例。
- 広報含め、もう少し大規模にやっても良いのでは。
- 医療関係の人が多かったが、より多様な業種・職種の人が参加するとよりおもしろいと感じました。
- 各企業の研修の窓口となる人事部の方が受講すると良い。

